

人々が憩い、  
語らう場に雑然とした池を  
癒やしのハス池に

毎年この時期になると、秋津川河川公園の調整池で花を咲かせる大賀ハス。国道443号沿いに掲げられるのぼり旗を目印に、町内外から多くの人が訪れる癒やしスポットとなっています。

その管理をしているのが「蓮池クラブ」の皆さんです。メンバーは山来敬明さん(上町)、山中芳昭さん(寺迫)、津田秀雄さん(宮園)、倉岡壽雅子さん(辻の城団地)、甲斐喜三男さん(寺中)、松野良子さん(市ノ後)、林君子さん(上町)、大賀完さん(小峯)の8人。池の周りの草刈りや、水を確保するための水路の泥上げを行う他、7月ごろ花が咲き始めると看板と旗を立て、3月ごろ新芽が出る前には池に入り、枯れた花や葉を全て引き上げ、美しいハス池を保っています。

「以前はとても汚い池でした。自転車や古タイヤなども捨てられていたんですよ」と

山来さん。「ハスの花が咲くようになって、ゴミを捨てる人はいなくなりました」と津田さんが続けます。今では、毎年花が咲くのを楽しみにしているという声も多く、この時期は散歩コースを変えて見に来る人もいます。

若い世代も加わって  
守り咲かせる大賀ハス

「小さい池でも管理しないと花は咲きません。受け継いでくれる人がいれうれしいです」と山来さんが視線を向けたのは、令和5年に加わった最年少メンバーの大賀さん。「ハスの名前が自分と同じ『大賀』と知って、ぜひ自分も仲間に入れてください!と志願しました」と笑顔を見せます。小学生の子ども3人も一緒に草取りなどをしているそうで、クラブの活動は若い世代にも広がりは始めています。

「花を見ながら語らう場、憩いの場になれば」と看板や旗を準備する甲斐さん。クラブの皆さんが見守る池で、今年もハスが見頃を迎えます。

下段写真左から  
／花を見ながら語らう(山来さん提供)  
／開花を待つ蕾(山来さん提供)  
／6月下旬～8月上旬の午前中に開くハスの花



後列左から／大賀さん、甲斐さん、津田さん、山中さん、山来さん 前列左から／松野さん、倉岡さん、林さん